様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月2日

八王子市長　　殿



提出者
住　所　東京都八王子市北野町５５９－６
株式会社ニッスイ　八王子総合工場
氏　名　総合工場長　松本　賢一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号０４２－６５６－５１１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニッスイ　八王子総合工場
事業場の所在地	東京都八王子市北野町559番地6
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

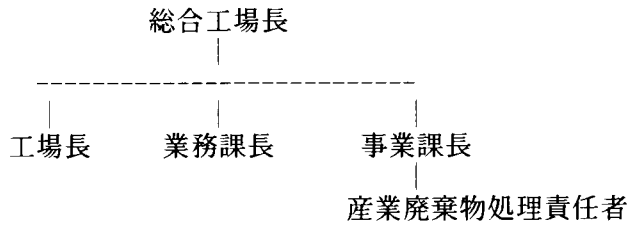
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食品製造業
②事業の規模	2024年度生産量　51,745ｔ/年
③従業員数	６１８人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥→吸引車→生物処理（嫌気性及び好気性） ・汚泥→脱水→焼却→灰を再生利用 ・廃プラ→粉砕、溶融、減容、固化→固形燃料 ・廃プラ→焼却溶融→灰を再生利用 ・動植物性残渣→機械乾燥→飼料化原料 ・動植物性残渣→粉砕、発酵→液体発酵飼料

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
排　出　量	72.00　t	29.45　t

（これまでに実施した取組）

廃水処理から発生する汚泥の減少に取組む。
生産数量増加により廃棄物が増加しているため、不適合品、落下品廃棄の減少に取組む

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
排　出　量	72.00　t	27.98　t

（今後実施する予定の取組）

製品廃棄や配合間違いによる原材料廃棄を少なくする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
動残：飼料化する処分場毎（魚肉、米　等）に分別を細かく実施
廃プラ：焼却、RPF、ﾌﾗﾌにする処分場毎に分別を実施

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

各事業者の分別強化を継続する。
廃プラの内、有価取引できる物を選別し、産廃数量から外す。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
排　出　量	522.23　t	1.01　t	0.16　t	331.09　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
排　出　量	496.12　t	0.96　t	0.15　t	314.54　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
排　出　量	59.33　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
排　出　量	56.36　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
排　出　量	0.13　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
排　出　量	0.12　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
全処理委託量	72.00 t	29.45 t
優良認定処理業者への処理委託量	72.00 t	5.71 t
再生利用業者への処理委託量	72.00 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	27.61 t

（これまでに実施した取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
全処理委託量	522.23　t	1.01　t	0.16　t	331.09　t
優良認定処理業者への処理委託量	354.98　t	－　t	0.16　t	69.41　t
再生利用業者への処理委託量	79.42　t	－　t	－　t	303.14　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	285.16　t	－　t	－　t	27.95　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	59.33　t	－　t	－　t	－　t
優良認定処理業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
再生利用業者への処理委託量	59.33　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
全処理委託量	0.13 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	0.13 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
全処理委託量	72.00 t	27.98 t
優良認定処理業者への処理委託量	72.00 t	5.42 t
再生利用業者への処理委託量	72.00 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	26.23 t

（今後実施する予定の取組）

※事務処理欄

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	廃酸	動植物性残さ
全処理委託量	496.12 t	0.96 t	0.15 t	314.54 t
優良認定処理業者への処理委託量	337.23 t	- t	0.15 t	65.94 t
再生利用業者への処理委託量	75.45 t	- t	- t	287.98 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	270.90 t	- t	- t	26.55 t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	木くず	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	56.36 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	56.36 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	－	－	－
全処理委託量	0.12 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	0.12 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。